

# 宗祖報恩講・大正琴コンサート



12月6日(日)午後1時～徳成寺において親鸞聖人報恩講が執り行われました。報恩講は、それまで庶民には手の届かなかった仏教を、私たちに取り戻して下さった親鸞聖人に感謝する法要です。親鸞聖人が一番喜ばれることをして差し上げるのが、その御恩に報いることになります。

親鸞聖人が、一番喜ばれることとは仏教徒の誕生です。この日もお二人の方が帰敬式(ききょうしき)を受式され、正真正銘の仏教徒に成りました。共に仏様の教え・こころ・言葉を依り処として歩いて参りましょう。この日受式を希望しながら、体調の都合で実現できなかった方も、またの機会にぜひ、よろしくお願いします。



年末恒例の大正琴ミニコンサートは、下笠居コミュニティーセンターで大正琴を習う「五色会」<sup>ごしきかい</sup>の皆さんによる演奏です。配られた歌詞カードを見ながら、参加者の皆さんも声高らかに歌いました。本堂の中は、大きなカラオケボックスさながらで、第九交響曲「よろこびの歌」など全11曲が歌いあげられました。



演奏の合間に、手踊りあり、フラダンスありで、大いに盛り上がりました。お帰りの際にして頂いた募金は、後日NHK「歳末たすけあい」に届けられました。

